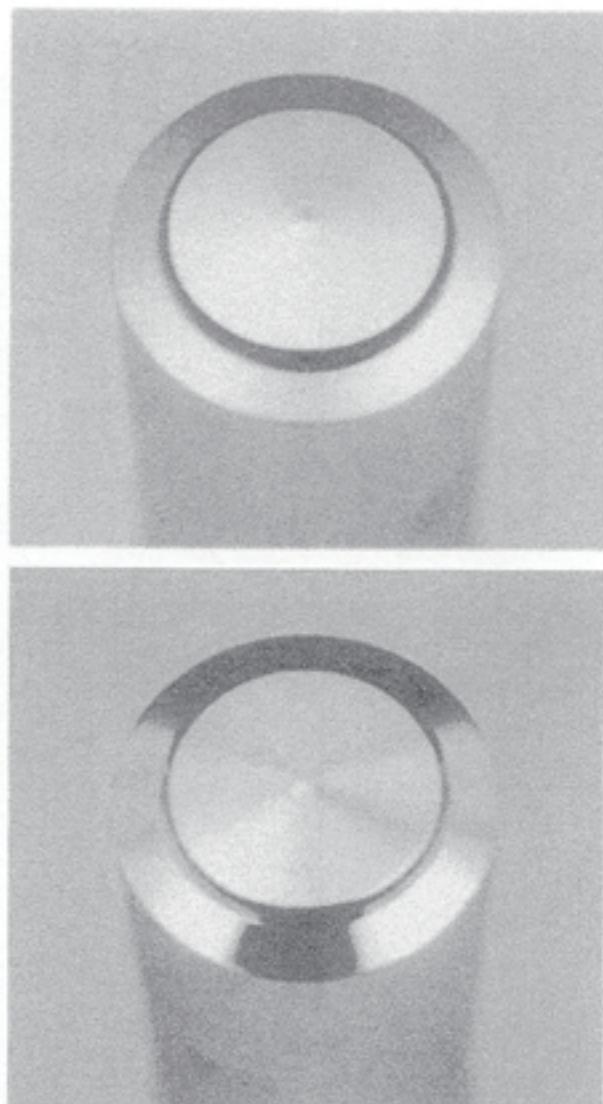


WPCと鏡面

オカノブラスト



ショットピーニング（上）とラッピング（下）

金型の寿命、1.5～5倍に

ハイスなどの微粒子を高速衝突させて金属を鍛錬するショットピーニング（WPC処理）と、鏡面に磨いて耐摩耗性を高めるラッピング。オカノ

技術を持つ。もともとある部品メーカーのために開発したが、今では冷間鍛造や鍛造やプレスの金型に広く採用されている。

同社が「タフラット」と呼ぶこの技術は、WPC処理をした後でラッピングをする。WPCは微粒の衝突による鍛錬と熱処理の効果で硬度や疲

労強度が高まるが、微粒子の打撃痕で微細な凹凸ができ、高面圧では摩擦抵抗となる。ラッピングするのはこの凹凸をなくすため。つまりタフラットは鍛錬をした表面をさらに磨き、強度も耐摩耗性も高める技術。金型に使えば、寿命が1.5～5倍に伸びるという。

金型に使えると分かり、昨年11月には輸送機部品メーカーとの処理技術で共同特許を取得。国補助事業にも選ばれ、加工後の疲労強度を検査する装置も導入し

8年前にある輸送機部品メーカーから冷間鍛造法について相談を受けたのがきっかけ。試行錯誤の末に自社の2つの加工を組み合わせてみたら金型の寿命は驚くほど伸びた。WPCとラッピング

を一貫するため別々に加工するのと比べて費用は5分の1～10分の1に。加工時間も1～2時間ほどしか掛からない。

金型に使えると分かり、昨年11月には輸送機部品メーカーとの処理技術で共同特許を取得。国補助事業にも選ばれ、加工後の疲労強度を検査する装置も導入し

オカノブラスト
▽大阪府堺市中区東山
644-072-234
・0999▽設立198

俊博氏▽社員数24人▽事業内容・WPC処理、二硫化モリブデンショット、ラッピング、ブラスト処理の受託加工。